

京都

KYOTO

不思議ふしぎ!?

京都に隠れた意外な秘密を紹介します

本当に動いた!? 将軍塚の謎

歴史や文化、全てが源流へとたどり着く古都。京都を知ることには日本を理解すること。

京都好きを大好きに

京都 検定

京都・観光文化検定試験
京都商工会議所

紅葉の季節となりました。

京都には名だたる紅葉の名所が数多くありますが、夜景が有名な将軍塚も隠れた紅葉の名所です。

近頃青蓮院の護摩堂である青龍殿が完成し話題となっています。ここは青蓮院の土地に知恩院を建立するため、代わりに与えられた飛び地でした。

ここには桓武天皇が王城

守護のために武人の像を埋め、都に危険が及ぶときには鳴動するとされ、甲冑を着せ、弓矢を持たせたその姿から、初代の征夷大將軍である坂上田村麻呂と重なり将軍塚と呼ばれるようになりました。この造営の状況は「将軍塚縁起絵巻」(高山寺蔵)に描かれています。

ところでこの将軍塚 本当

に動いたことがあるって存じでしたか? しかも二度も! 一度目は平清盛が軍勢を率いて京都を制圧し、後白河法皇の院政を停止させた、いわゆる治承三年の政変といわれる二七九年の七月七日。そして二度目は、応仁の乱が終わり、ようやく世の中が安定しかけたとき、足利義政

の妻・日野富子らが一度は

将軍に任命した義材を廃し、義澄を十一代将軍につけた足利将軍廃立事件(この事件が日本の戦国時代の始まりとされます)が起きた明応二(四九三)年十一月五日です。一度目は大きく二回鳴動し、二度目は小刻みにしきりに震えたと記録されています。それにしても地震でもないのに塚が動いたとは驚きです。本当に京都という町は、夢と現、史実と伝承が交錯し、歴史が生きている町だと実感させられますね。

いま将軍塚は青蓮院の聖

地として新たな時を刻み始めました。皆さんも国宝・青不動の仏徳に触れ、京都の絶景を堪能すべく足を運ばれてはいかがでしょうか。

(同志社大学非常勤講師 堤勇二)



「将軍塚縁起絵巻」に描かれた埋納される身の丈八尺(約2.4メートル)の武人像



青龍殿と将軍塚(手前の円墳)



将軍塚の紅葉(2013年秋)